

歴史ロマンあふれる 明石藩ゆかりの品々

文化博物館で順次公開

問 明石は歴史や文化あふれるまちである。このたび明石藩の藩主や家老の子孫にあたる人から、藩関連資料が寄贈されることになった

答 明石藩関連資料は大部分が戦災で失われ、現在まで残されてきた資料は非常に少ない。そのような状況の中、今回の資料の寄贈はとても貴重であり、大変感謝している。これらの文化財は市民のかけがえない財産として、また、子どもたちにふるさと明石の良さを伝え、郷土への誇りと愛着を生み出す生きた教材として、適切に保存



先人達の時代に心をはせて

と聞いている。寄贈された資料はどのように活用するのか。
明石藩関連資料は大部分が戦災で失われ、現在まで残されてきた資料は非常に少ない。そのような状況の中、今回の資料の寄贈はとても貴重であり、大変感謝している。これらの文化財は市民のかけがえない財産として、また、子どもたちにふるさと明石の良さを伝え、郷土への誇りと愛着を生み出す生きた教材として、適切に保存

明石駅前再開発

市の負担額さらに4億円減少

問 明石駅前南地区再開発事業は、事業内容の見直し等で、市の財政負担は百二十七億円から九十七億円となったが、さらなる縮減が必要ではないか。

答 市の負担額について

県と協議を重ねた結果、再開発ビル二階に整備予定のイベント広場は明石市民だけでなく広く県民が利用する空間となることから、市に対する県の補助率を二割増やすとの話を県か

自転車事故が多発

ルールとマナーの向上を

体験型交通安全教室も検討

問 自転車の利用増加に伴い事故が多発している。本市の事故発生件数と自転車道の整備状況、交通安全指導の取り組みについて聞く。

答 平成二十二年の自転車による人身事故は四百四十四件、二十三年は十月末現在で四百三十九件発生している。自転車道の確保は困難なため、自転車歩行者道を銀座通りなどに整備し、現在、観光道路等でも整備を行っている。交通安全指導については明石警察や明石交通安全協会と連携して、幼児から高齢者まであらゆる世代を対象とした交通安全教室や自転車通学の高校生を対象にチャリ通向上プ



自転車歩行者道 (本町通り)

プロジェクトを実施し、利用ルールやマナーを指導している。今後はスタントマンによる体験型の交通安全教室など新たな手法の導入も検討していきたい。

明石市議会活性化推進会議 ～市民アンケートを実施～

明石市議会では、議会報告会の実施や議会基本条例の制定などについて検討するため、明石市議会活性化推進会議を設置しています。これまでに7回の会議を開催し、議案の審査結果の報告や市民との意見交換などを行う議会報告会を1月下旬に市内3カ所で開催することを決定しました。(詳細は1面参照)
また、議会基本条例制定の先進市である横須賀市、多摩市への視察や市議会に関する市民アンケートなどを実施しました。
市民アンケートは、市議会に対する市民の意見や考え、要望などを把握するため、20歳以上の市民から無作為に3,000人を抽出し、内容は、市議会に対しての関心や期待、議員定数、報酬など、21項目で実施しました。
集計結果や寄せられたご意見は、市議会だよりや市議会ホームページでお知らせする予定です。



委員全員で市民アンケートを封入

活性化推進会議の傍聴を開催の日は市議会ホームページでお知らせしています。

委員会審査

中学校給食

平成27年度実施へ

センター方式が最適

文教厚生常任委員会で、中学校給食実施についての報告がありました。現段階では、和坂にある市バスの敷地に一万食規模の給食センターを建設し、一括調理して各学校

に運搬するセンター方式が最適であり、平成二十七年から実施したいとの考えが示されました。実施方法については、センター方式のほか、各学校に給食室を設ける自

校方式、近くの小学校の給食室で調理して運搬する親子方式、民間業者が調理して各学校に運搬する民間調理場方式があります。しかし、センター方式以外の方式では、衛生管理等、運営上の問題や生徒の学校生活にも支障があるなどの課題があります。また、費用面においても二十年度の総費用を各方式で比較すると、センター方式が最も有利であるとのことでした。

委員からは、給食の方式については慎重かつ柔軟に検討すべきとの意見や、親が作る愛情弁当の重要性を十分認識した上で実施してほしい、また、教育現場との連携や地産地消、食育の推進についても検討するようにとの意見がありました。これに対して市からは、食育の専門家や生産者等による外部検討委員会を設置し、十分に検討していくとの答弁がありました。

人権擁護委員

推薦に同意

任期満了となる人権擁護委員の候補者として、引き続き越智宏明氏(四十八歳・野々上一丁目)、仲井幸代氏(六十九歳・二見町西二見)、木下和子氏(六十四歳・松が丘一丁目)、大岸美智子氏(五十八歳・大久保町高丘一丁目)の四名を法務

大臣に推薦することに同意しました。
越智氏は慈泉寺(鳥羽)の住職をされており、今回で四期目、仲井氏は明石市ふれあい介護相談員、木下氏は民生児童委員などを務められ、ともに三期目、大岸氏は明石市選挙推進員や人権アドバイザーなどを務められ、今回で二期目となります。なお、本市の人権擁護委員は十三人で、任期は三年です。

議決結果(抜粋)

- 〔可決された議案〕
- ▽明石市立文化博物館条例の一部を改正する条例制定
- ―利用者サービス向上と観覧者数の増加を図るため、新たな利用券として年間観覧券を新設することを規定
- このほか、議案二十七件を可決・同意
- ▽不採択となった請願
- 国民への負担増を新たに強いる「社会保障・税一体改革案」に反対し、社会保障の充実・改善を求める請願
- 市議会議場に国旗の掲揚並びに市旗掲揚を求める請願

請願

意見書を提出

意見書を可決し、政府・関係機関に送付しました。以下はその要旨です。
◎防災会議に女性の視点を
東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会の報告において、防災会議への女性委員の積極的登用や女性の視点を取り入れるよう配慮することが盛り込まれている。よって、中央防災会議に三割以上の女性委員を登用できる構成にし、地方防災会議にも女性委員の登用を促すよう強く要望する。

平成二十三年四月二十四日執行の明石市議会議員選挙に当選し、議員となった灰野修平氏に於いては、公職選挙法第二百一条の規定による訴訟の判決が十二月十六日に確定したため、同法第二百五十一条の三の規定により、同日付で議員を失職しました。

編集後記

昨年の世相を表す漢字は「絆」でした。震災で多くの人が大変な思いをした中で、確かにそれはあったと思います。どんなに科学技術が発達しても最後に頼れるのは「人」ということでしょうか。(た)